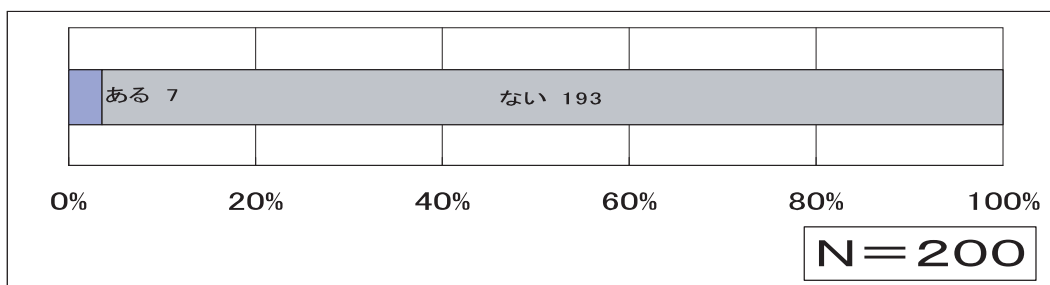


問6 公民館等職員の研修の年間計画について
貴館には、職員研修の年間計画がありますか。

現在公民館等職員の職員研修の年間計画があるのは、7館(3.5%)にとどまっており、193館(96.5%)は、研修の年間計画が無いと回答している。

【図6 職員研修の年間計画の有無】



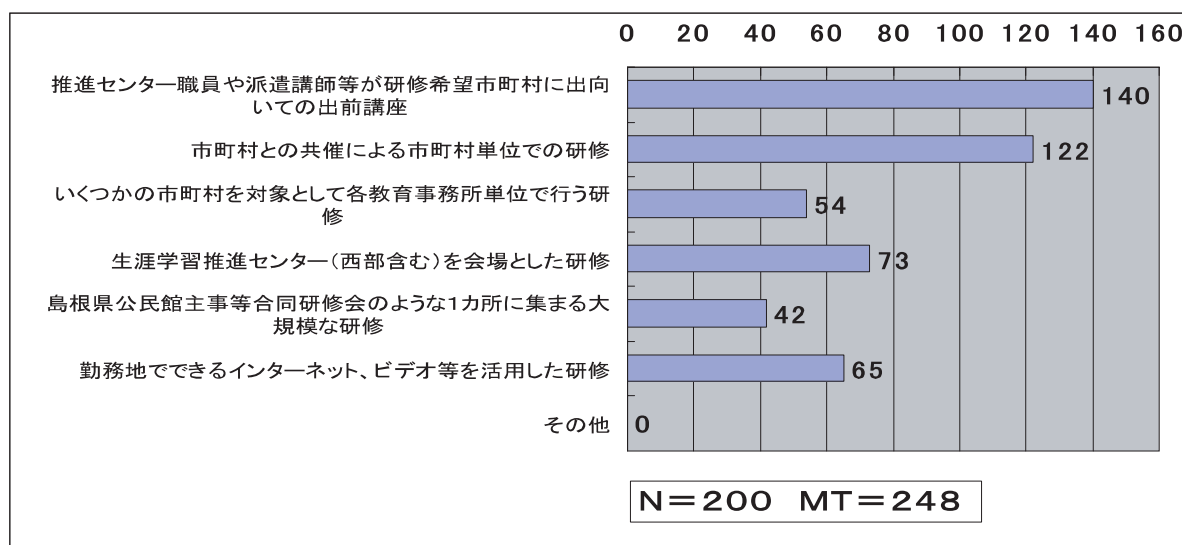
問7 今後、県が行う生涯学習担当者・指導者研修に期待すること

(1)研修形態について

島根県立生涯学習推進センターでは、市町村教育委員会・部局並びに公民館等職員の方々を対象として、生涯学習担当者・指導者研修を実施しています。今後、県が行う生涯学習担当者・指導者研修にどのようなことを期待しますか。

期待する研修形態としては、「推進センター職員や派遣講師等が研修希望市町村に出向いての出前講座」が最も多く140人(70.0%)となっており、次いで、市町村との共催による市町村単位での研修122人(61.0%)となっている。推進センター・西部推進センターを会場とした研修が73人(36.5%)、勤務地でできるインターネット、ビデオ等を活用した研修を65人(32.5%)が希望している。1カ所に集まるような大規模な研修は42人(21.0%)にとどまっている。

【図7-1 期待する研修形態】



教育事務所別集計

期待する研修形態としては、各教育事務所ともに似た傾向となった。「推進センター職員や派遣講師等が研修希望市町村に出向いての出前講座」と「市町村との共催による市町村単位での研修」とを併せると、どの教育事務所でも半数を超える割合となっている。松江、浜田、益田教育事務所管内では、「推進センター・西部推進センターを会場とした研修」への希望が他の教育事務所と比べ高くなっており、推進センターの立地している教育事務所管内では、希望が多いことが分かる。

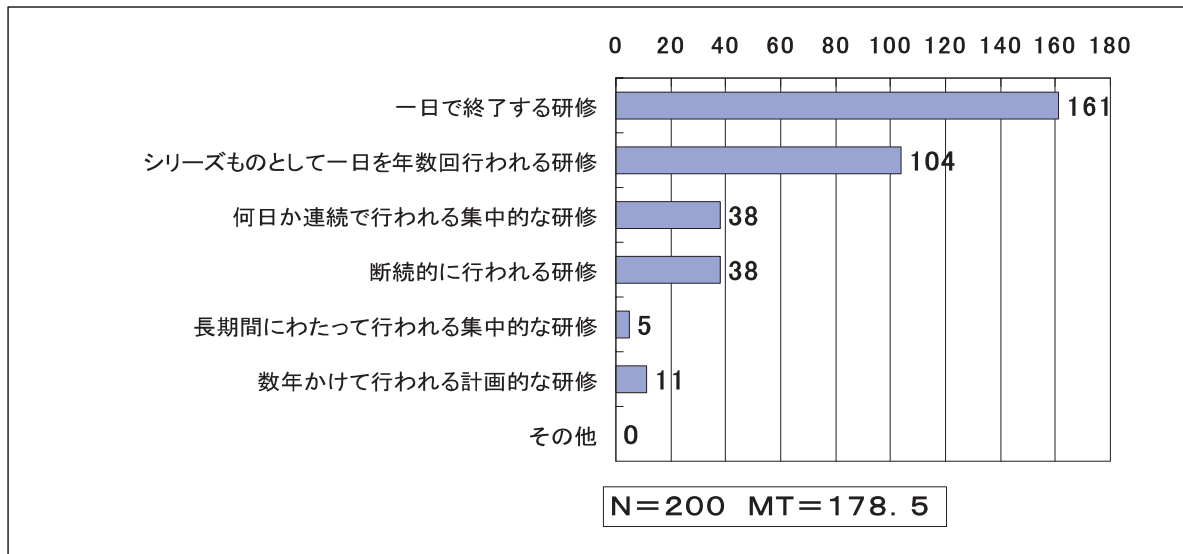
	推進センター職員や派遣講師等が研修希望市町村に出向いての出前講座	市町村との共催による市町村単位での研修	いくつかの市町村を対象として各教育事務所単位で行う研修	生涯学習推進センター（西部含む）を会場とした研修	島根県公民館主事等合同研修会のような1カ所に集まる大規模な研修	勤務地で行えるインターネット、ビデオ等を活用した研修	その他	全体
松江教育事務所	31 28.0%	30 27.3%	9 8.2%	19 17.3%	8 7.3%	13 11.8%	0 0%	110
出雲教育事務所	54 29.5%	44 24.0%	21 11.5%	19 10.4%	20 10.9%	25 13.7%	0 0%	183
浜田教育事務所	34 26.2%	32 24.6%	16 12.3%	25 19.2%	9 6.9%	14 10.8%	0 0%	130
益田教育事務所	17 29.3%	12 20.7%	5 8.6%	9 15.5%	4 6.9%	11 19.0%	0 0%	58
隠岐教育事務所	4 26.7%	4 26.7%	3 20.0%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0%	15
全体	140 28.2%	122 24.6%	54 10.9%	73 14.7%	42 8.5%	65 13.1%	0 0%	496

問7 今後、県が行う生涯学習担当者・指導者研修に期待すること

(2)研修期間について

期待する研修期間としては、「一日で終了する研修」が161人(80.5%)で最も多い。次に、「シリーズものとして一日を数日かけて行われる研修」が104人(52.0%)となっている。一日研修への希望が多いことが分かる。一方で、長期間にわたって行われる集中的な研修や数年かけて行われる計画的な研修への希望は少ない。

【図7-2 県が行う生涯学習担当者・指導者研修で期待する研修期間】



教育事務所集計

全ての教育事務所において、「一日で終了する研修」が最も希望が多い。次いで、隠岐教育事務所以外は全て、「シリーズものとして一日を年間数回行われる研修」への希望が多くなっている。隠岐教育事務所では、「何日か連続で行われる集中的な研修」への希望が多くなっている。一日の日程であれば、年間数回行われる研修へも希望が多くなっている事が分かる。

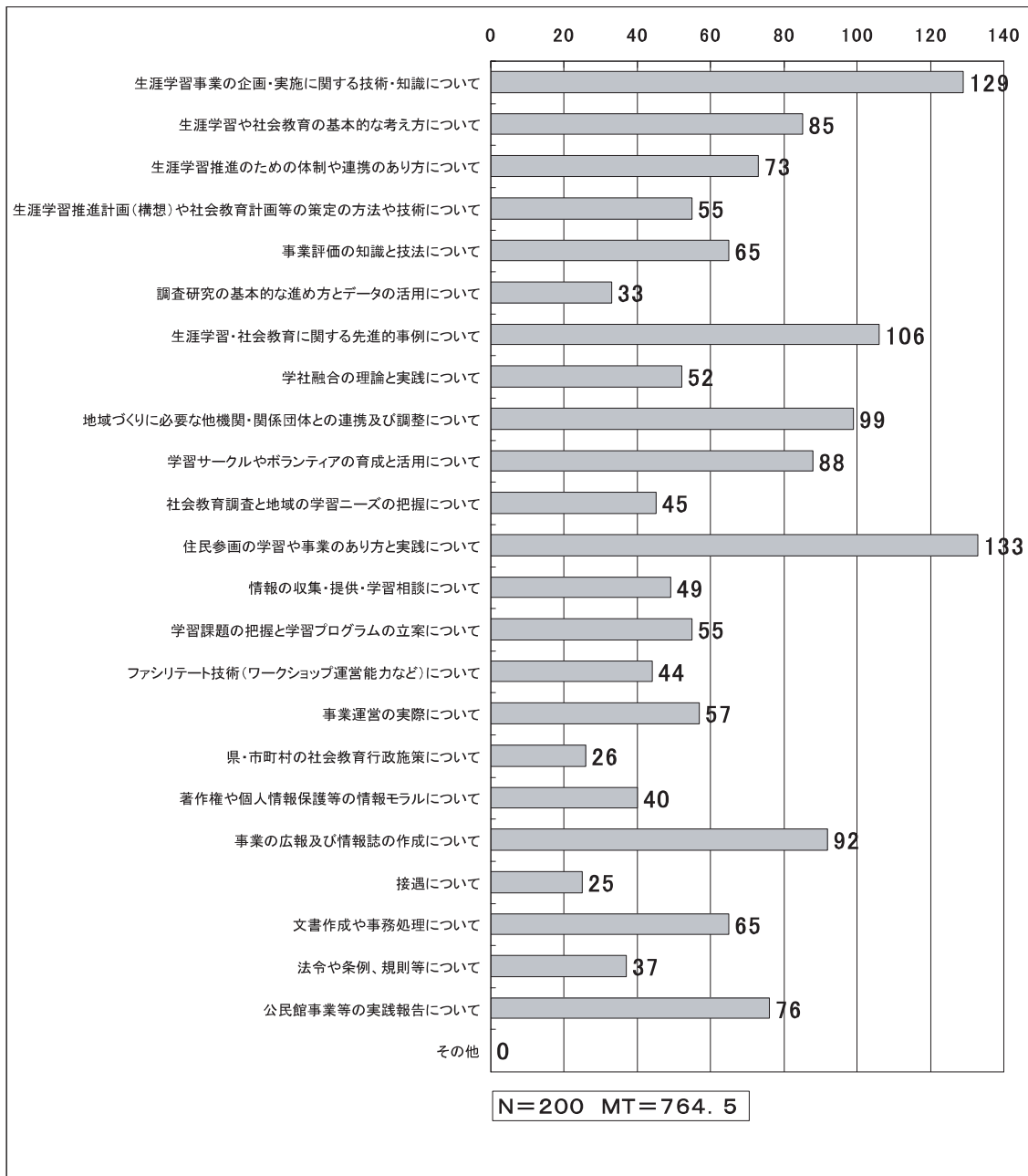
	一日で終了する研修	シリーズものとして一日を年数回行われる研修	何日か連続で行われる集中的な研修	断続的に行われる研修	長期間にわたって行われる集中的な研修	数年かけて行われる計画的な研修	その他	全体
松江教育事務所	37 44.6%	23 27.7%	0 2.0%	9 10.8%	0 0%	4 4.8%	0 0%	3

出雲教育 事務所	59 46.1%	41 32%	11 8.6%	11 8.6%	2 1.6%	4 3.1%	0 0%	128
浜田教育 事務所	45 46.9%	24 25.0%	8 8.3%	15 15.6%	2 2.1%	2 2.1%	0 0%	96
益田教育 事務所	15 41.7%	13 36.1%	4 11.1%	3 8.3%	0 0%	1 2.8%	0 0%	36
隠岐教育 事務所	5 35.7%	3 21.4%	5 35.7%	0 0%	1 7.1%	0 0%	0 0%	14
全体	161 45.1%	104 29.1%	38 10.6%	38 10.6%	5 1.4%	11 3.1%	0 0%	357

問7 今後、県が行う生涯学習担当者・指導者研修に期待すること
 (3) 研修内容について

期待する研修内容としては、「住民参画の学習や事業のあり方と実践について」が133人(66.5%)と最も多く、次いで、「生涯学習事業の企画・実施に関する技術・知識について」が129人(64.5%)、「生涯学習・社会教育に関する先進的な事例について」106人(53.0%)、「地域づくりに必要な他機関・関係団体との連携及び調整について」99人(49.5%)となっている。反対に、「接遇について」「県・市町村の社会教育行政施策について」は希望が少ない。

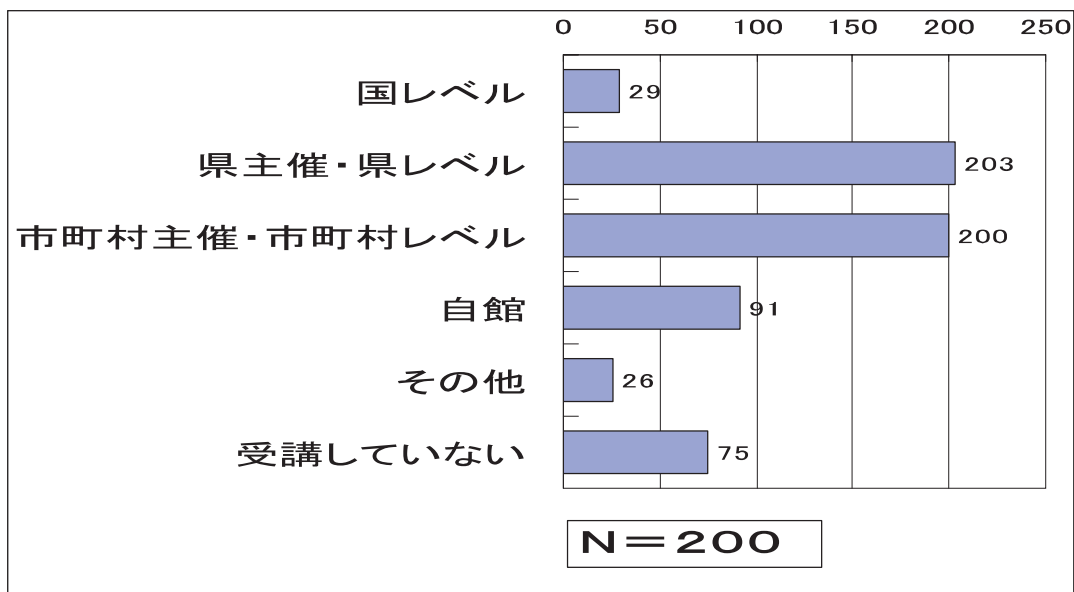
【図7-3 期待する研修内容】



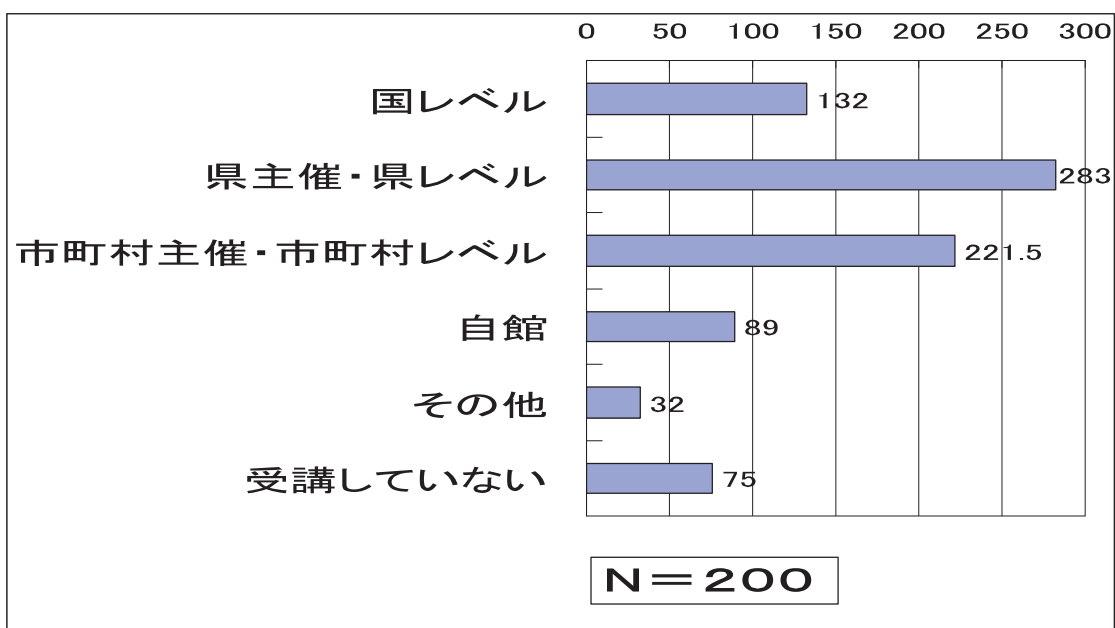
問8 公民館等職員の専門性を高めるための研修会の受講状況について

研修会の受講状況は、県主催・県レベルの研修会の受講が最も多く203回となっている。次に市町村・市町村レベルの研修会の受講が200回、自館での受講が91回となっている。一方で、75人がこの1年間に研修会を受講していない。

【図8 平成18年度における公民館等職員の専門性を高める研修会への受講状況】
受講回数 (回)



受講日数 (日)



問9 平成18年度に受講した研修について具体的に記入して下さい。

	研 修 名	主 催 機 関 等	人数
国	主事講習	国社研	8
	全国公民館研究集会	公民館公民館連絡協議会	3
中四国	中国・四国地区公民館研究集会	中四国地区公民館連絡協議会	3 4
中国	中国地区公民館研修会	公民館連絡協議会	1
県	人権・同和教育専門研修	人権啓発推進センター	1
	人権同和研修会	人権・同和教育課	1
	同和教育推進協議会連合会研究会	同和教育推進協議会	1
	同和教育推進協議会連合会総会	同和教育推進協議会	1
	子どもの心安らぐ居場所作り研修会	生涯学習課・健康福祉部	2
	島根県居場所作り教育委事務所別研修会	島根県居場所づくり運営協議会	3
	ふるさと教育指導者研修	島根県教育委員会	1
	地域教育力再生協議会研究部会兼居場所づくりコーディネーター研修	島根県地域教育再生協議会	1
	結婚支援のあり方	島根県少子化対策推進室	1
	地域教育コーディネーター研修	生涯学習課	1
	ふるさと教育フェスティバル	島根県教育委員会	1
	居場所づくりコーディネーター研修	島根県教育委員会	1
	生涯学習講座	島根県立生涯学習推進センター・西部	2 6
	体験活動・ボランティア活動	島根県立生涯学習推進センター・西部	9
	パソコンサポーター養成講座	島根県立生涯学習推進センター・西部	5
	はじめてのパソコン講座	島根県立生涯学習推進センター・西部	2
	ファシリテーター養成講座	島根県立生涯学習推進センター・西部	4
	著作権講座	島根県立生涯学習推進センター・西部	4
	地域課題研修	島根県立生涯学習推進センター・西部	3
	しまね県民大学	島根県立生涯学習推進センター・西部	1
松江市	松江市公民館協議会	松江市公民館協議会	1
	松南ブロック職員研修会	松江市松南ブロック	1
	松北ブロック人権同和教育講演会	松江市松北ブロック各地域人権同和教育推進協議会	1
	湖南ブロック公民館職員研修会	松江市湖南ブロック公民館	1
安来市	公民館主事研修会	安来市市民参画課	1
	I T講習会	安来市情報センター	1
	事務職研修会	安来市市民参画課、安来市公民館活動推進協議会	1
	安来市公民館定例会（主事会）	安来市公民館活動推進協議会	1

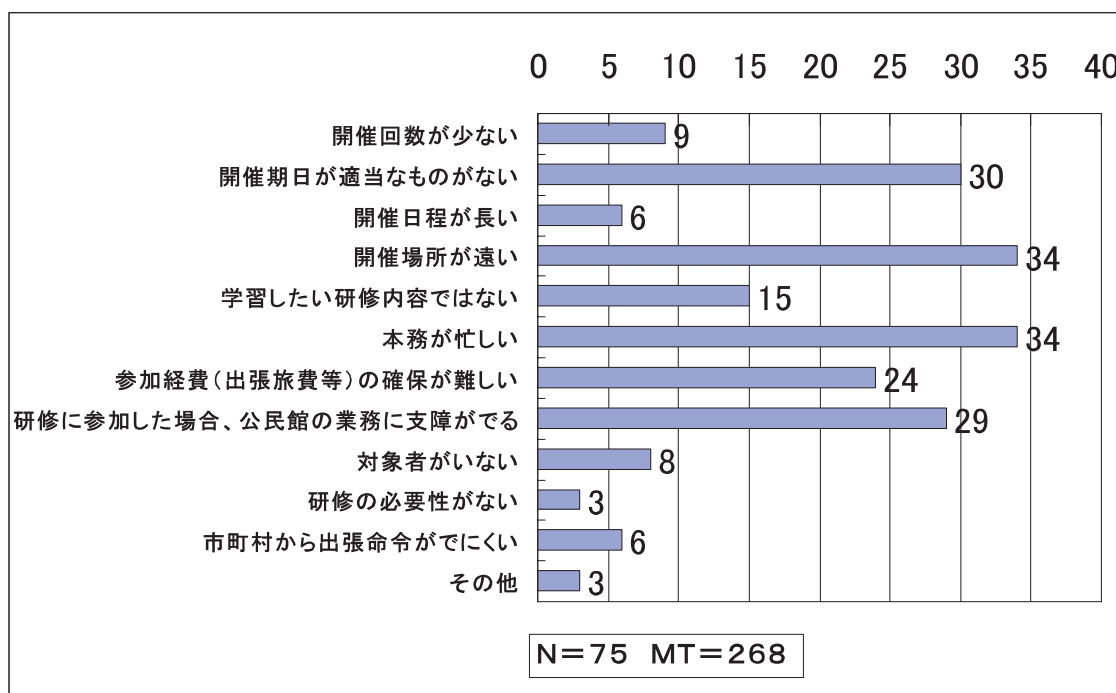
	介護予防講演会	安来市健康推進会議	1
出雲市	食のボランティア育成講座	出雲市	1
	人権・同和教育基礎講座	出雲市人権同和政策課	3
	男女共同参画講演会	あすの出雲を考える女性の会	1
	地域で男女共同参画を進めるために	くすのきプラザ（出雲市女性センター）	1
	男女共同参画講座	出雲市市民活動支援課	1
	チーフマネージャー会	出雲市地域振興課	1
奥出雲町	奥出雲町における学社連携講座	奥出雲町	1
	雲南地域づくりセミナー	雲南市、奥出雲町、飯南町、雲南広域連合	1
飯南町	公民館関係者研修会	飯南町	2
	ワークショップによる町づくり	公民館連絡協議会、飯南町教育委員会	1
斐川町	斐川町地域教育力・体験活動推進協議会 委員研修	斐川町地域教育力・体験活動推進協議会	1
浜田市	人権同和教育研修	浜田市	1
	浜田市ふるさと教育研修会	浜田市教育委員会	1
大田市	ふるさと教育指導者研修会	大田市教育委員会	1
益田市	益田・鹿足公民館振興大会	益田・鹿足公民館協議会	1
	ボランティア養成講座	益田市	1
津和野町	津和野町館長主事会議	津和野町教育委員会	1
隠岐の島町	公民館・教育委員会職員研修	隠岐の島町教育委員会	3
	サポーター養成講座	隠岐の島町教育委員会	1

問10 研修会を受講していない理由

「受講していない」理由はなんですか。

研修会を受講しない理由としては、「本務が忙しい」「開催地が遠い」がともに34人(45.3%)で最も多い。次いで「研修に参加した場合、公民館の業務に支障がでる」29人(38.7%)「開催期日が適当なものがない」が30人(40.0%)となっている。「研修の必要性がない」「開催期日が長い」が受講していない理由となっているのは少ない。

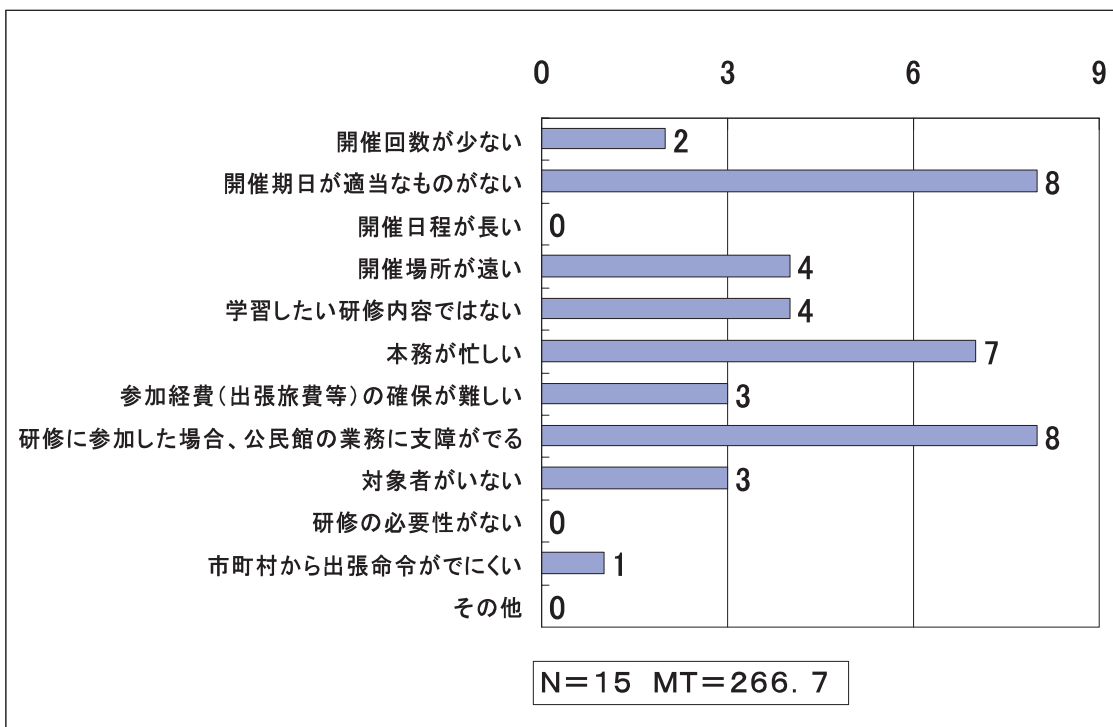
【図10 研修会を受講していない理由】



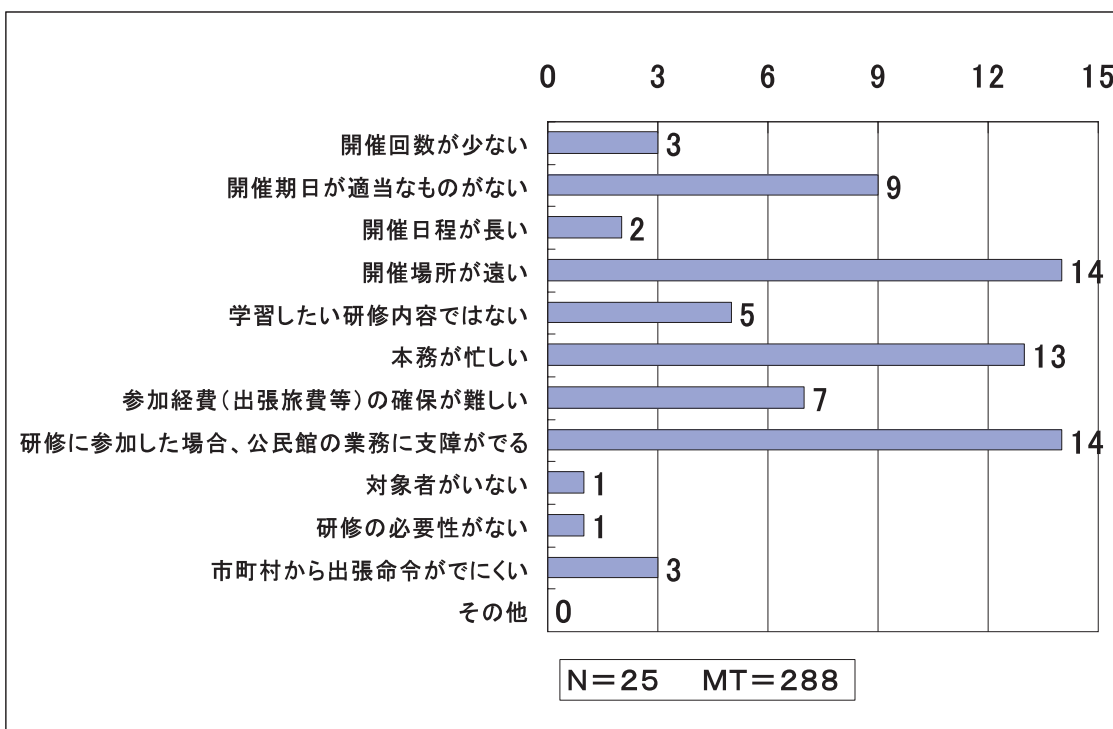
教育事務所別集計

公民館側の理由として「研修に参加した場合、公民館の業務に支障が出る」への回答が多かったのが、松江、出雲教育事務所管内である。松江、出雲、浜田教育事務所管内では、「本務が忙しい」も回答数が多くなっている。「参加経費(出張旅費)の確保が難しい」への回答の割合が高いのが、益田教育事務所管内となっている。研修を主催する側の理由として、出雲、浜田、益田教育事務所管内では、「開催場所が遠い」への回答数が多くなっている。松江、出雲、浜田教育事務所管内では、「開催期日が適当なものがない」という回答も多くなっている。全ての教育事務所管内で、「研修の必要性がない」への回答が少ない。また、松江教育事務所管内以外は、「対象者がいない」が受講しない理由となっていることは少ないようである。

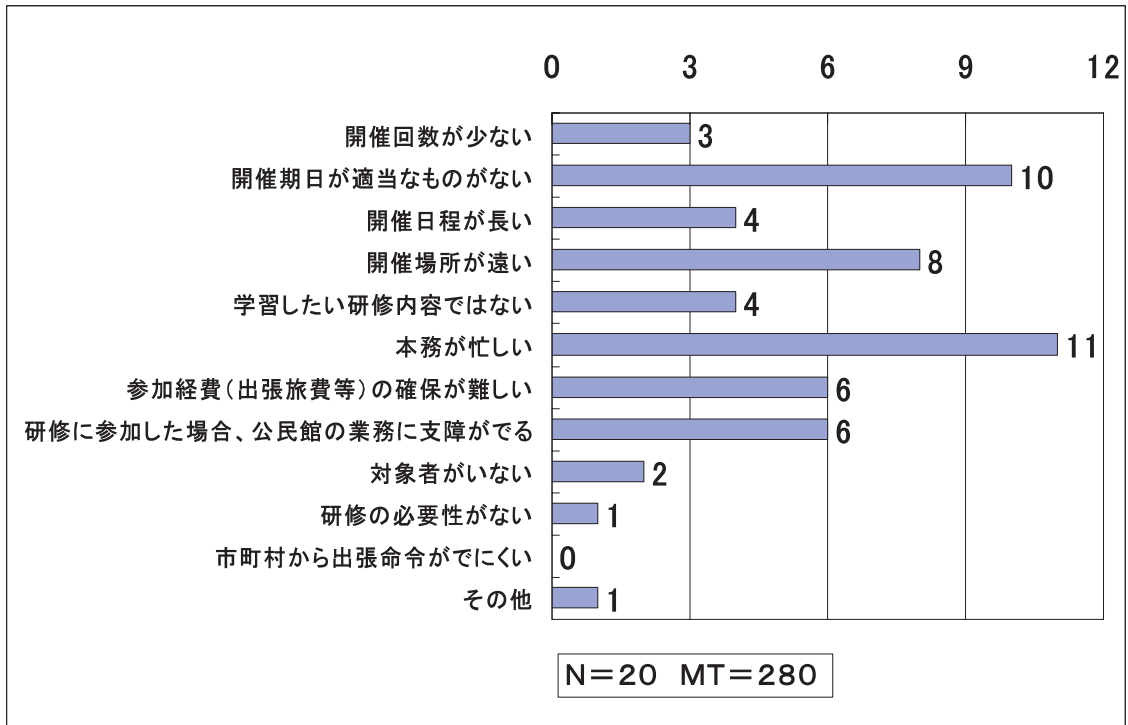
松江教育事務所管内



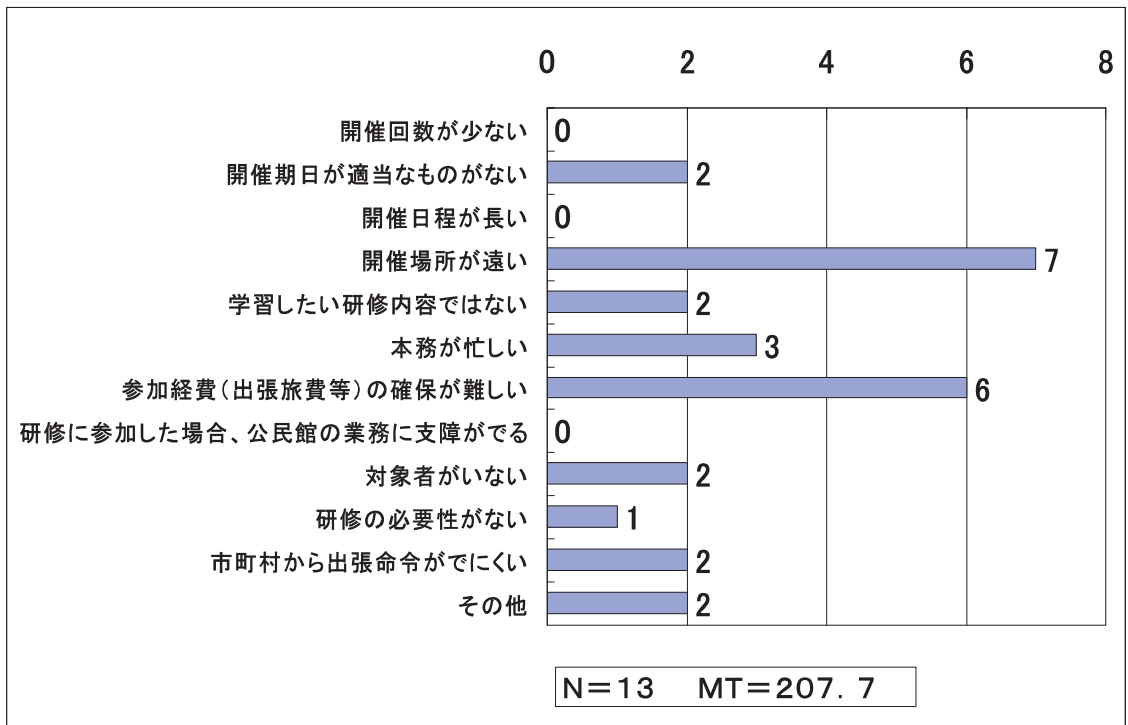
出雲教育事務所管内



浜田教育事務所管内



益田教育事務所管内



隠岐教育事務所管内

	0	1	2	3
開催回数が少ない		1		
開催期日が適当なものがない		1		
開催日程が長い	0			
開催場所が遠い		1		
学習したい研修内容ではない	0			
本務が忙しい	0			
参加経費(出張旅費等)の確保が難しい			2	
研修に参加した場合、公民館の業務に支障がでる		1		
対象者がいない	0			
研修の必要性がない	0			
市町村から出張命令がでにくい	0			
その他	0			

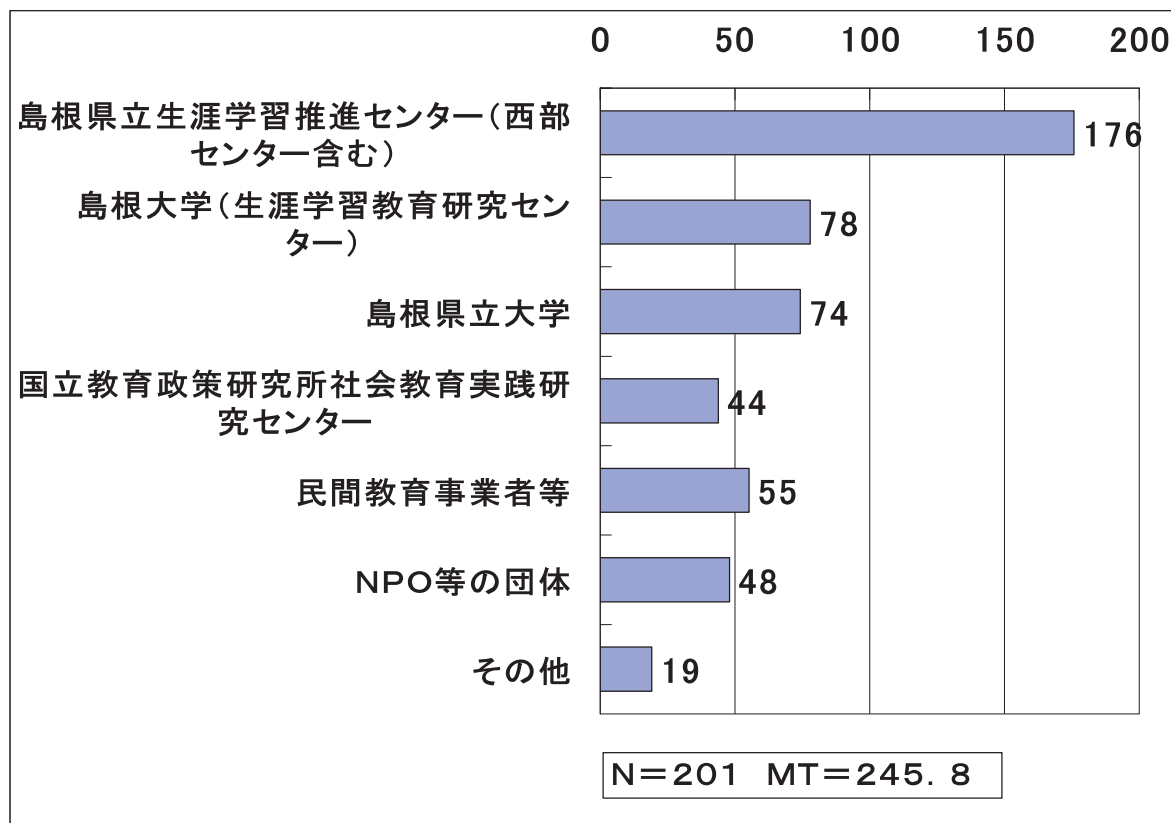
N=2 MT=300

問11 最も活用しやすい研修機関について

公民館等職員を対象とした研修について、最も活用しやすい研修機関は次のうちどれですか。

最も活用しやすい研修機関としては、島根県立生涯学習推進センター（西部センター含む）が176人（35.6%）である。次に、島根大学（生涯学習教育研究センター）78人（15.8%）、島根県立大学74人（15.0%）となっている。

【図11 最も活用しやすい研修機関】



教育事務所別集計

全ての教育事務所管内で「島根県立生涯学習推進センター（西部推進センター含む）」への回答数が多かった。松江、隠岐教育事務所では、次に島根大学（生涯学習教育研究センター）への回答数が多く、浜田、益田教育事務所管内では、島根県立大学への回答数が多くなっている。それぞれの研修機関の立地との関連が分かる。松江、出雲、浜田教育事務所管内では、「国立教育政策研究所社会教育実践研究センター」への回答もあり、遠隔地の会場への希望もあることが分かる。

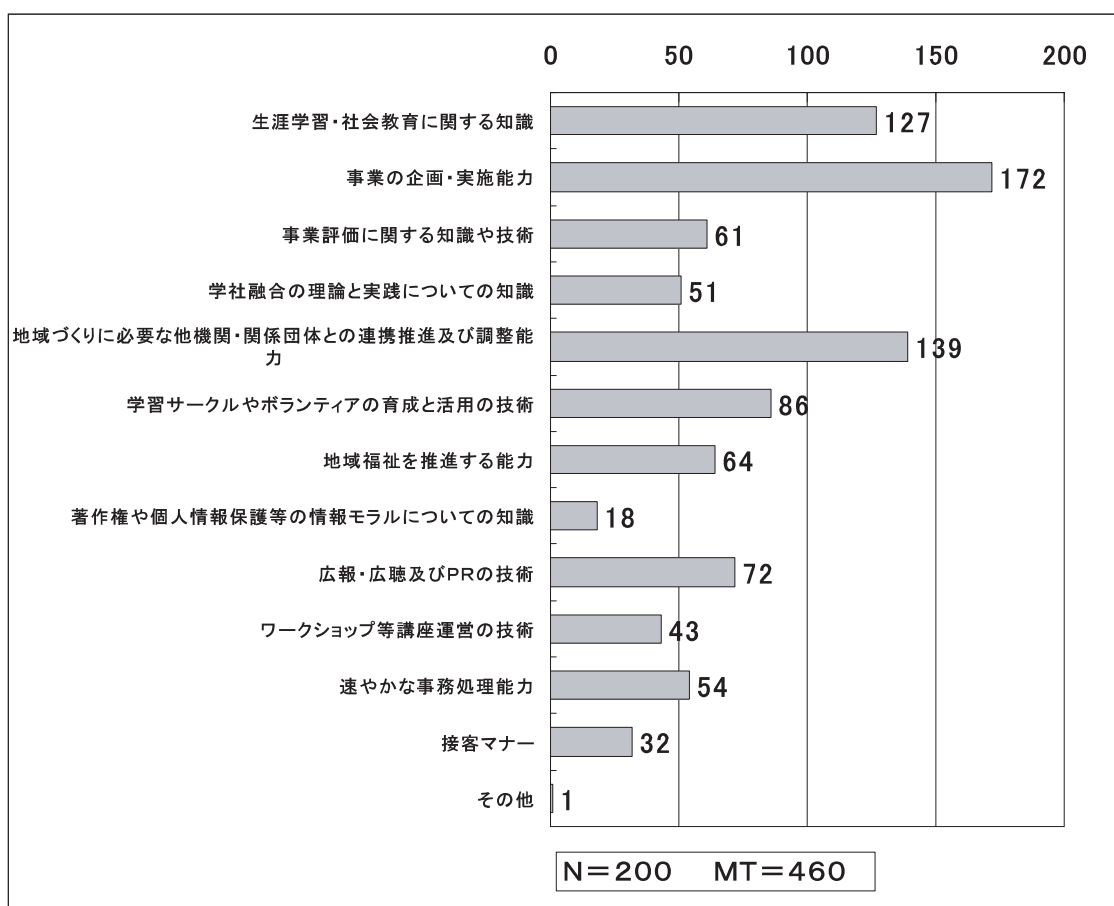
	島根県立 生涯学習 推進セン ター（西 部）	島根大学 （生涯学 習教育研 究センタ ー）	島根県立 大学	民間教 育事業 者等	NPO等 の団体	国立教育 政策研究 所社会教 育実践研 究センタ ー	その他	全 体
松江教育 事務所	41 34.7%	30 25.4%	11 9.3%	10 8.5%	13 11.0%	11 9.3%	2 1.7%	118
出雲教育 事務所	58 36.9%	21 13.4%	16 10.2%	15 9.6%	21 13.4%	18 11.5%	8 5.1%	157
浜田教育 事務所	51 36.2%	18 12.8%	31 22.0%	13 9.2%	14 9.9%	13 9.2%	1 0.7%	141
益田教育 事務所	20 30.3%	6 9.1%	15 22.7%	5 7.6%	6 9.1%	6 9.1%	8 12.1%	66
隠岐教育 事務所	6 50.0%	3 25.0%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0%	0 0%	12
全体	176 35.6%	78 15.8%	74 15.0%	44 8.9%	55 11.1%	48 9.7%	19 3.8%	494

問12 公民館等職員として必要な知識・能力(資質)について

公民館等職員として、今後どのような知識・能力(資質)が必要であると思いますか。(あてはまる番号を5つまで記入)

今後必要な知識・能力(資質)としては、「事業の企画・実施能力」が172館(86.0%)、「地域づくりに必要な他機関・関係団体との連携推進及び調整能力」が139館(69.5%)と実践的な能力が必要だという回答が多くなっている。次いで、「生涯学習・社会教育に関する知識」が127館(63.5%)となっている。反対に、「情報モラルについての知識」「接客マナー」等を回答している数は少ない。

【図12 公民館等職員として今後必要な知識・能力(資質)】

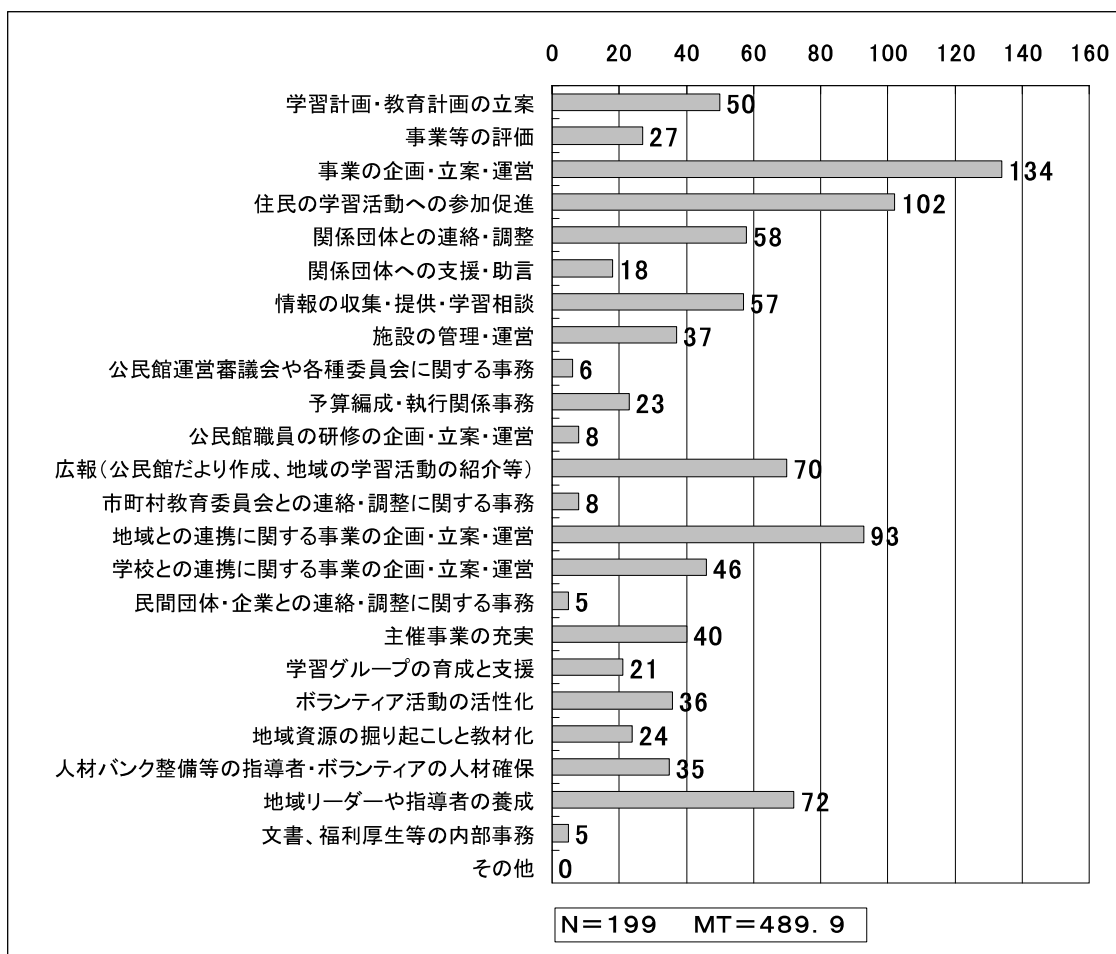


問13 公民館等職員が担当する職務、分野の中で今後重要となるもの

(1)職務について(あてはまる番号を5つまで記入)

今後重要となる職務としては、「事業の企画・立案・運営」が134人(67.3%)で最も多い。次いで、「住民の学習活動の参加促進」102人(51.3%)、「地域との連携に関する事業の企画・立案・運営」93人(46.7%)となっている。「地域リーダーや指導者の養成」72人(36.2%)、「広報」70人(35.2%)、「関係団体との連絡・調整」「情報の収集・提供・学習相談」と続いている。

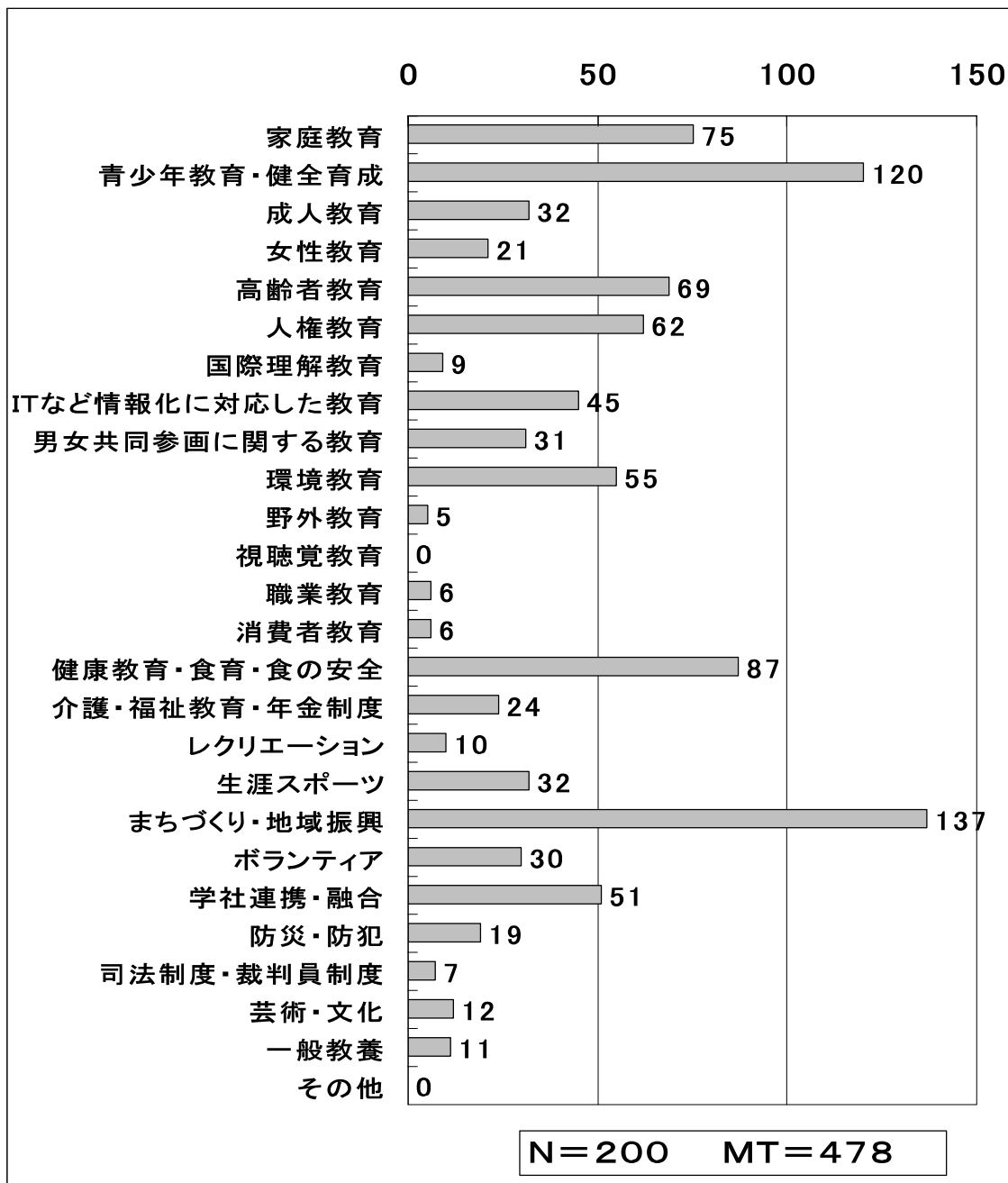
【図13-1 今後重要な職務】



問13 公民館等職員が担当する職務、分野の中で今後重要となるもの
 (2)分野について(あてはまる番号を5つまで記入)

今後重要となる分野としては、「まちづくり・地域振興」が137人(68.5%)で最も多い。次いで、「青少年教育・健全育成」120人(60.0%)、「健康教育・食育、食の安全」87人(43.5%)となっている。「家庭教育」75人(37.5%)、「高齢者教育」69人(34.5%)と続いている。

【図13-2 今後重要な分野】



問14 県が行っている公民館等職員を対象とした研修の課題、要望

県(生涯学習推進センター・西部生涯学習推進センター)が行っている公民館等職員を対象とした研修について、課題や要望等がありましたら自由にご記入下さい。

研修内容について

研修内容をみると現代的課題についての研修の希望が多いことが分かる。他には、経験年数に応じた研修会や、市町村職員、教育委員会も含めた研修の開催の要望もある。

- ・社会教育の理念、生涯学習の理念、学社融合の必要性などを理解する講座、講義
- ・公民館事業の企画・運営に関する研修
- ・ITなど情報化に対応した研修
- ・地球温暖化防止に伴う環境学習研修会(環境教育)
- ・地域福祉に関する研修(福祉)教育
- ・「地域づくり」に関しての講座
- ・人権教育の研修会
- ・新任館長のための研修講座
- ・人づくり、人間関係、コミュニケーションから自分自身を高める研修。
- ・まちづくり、地域振興を中心とした研修
- ・人材育成的研修
- ・情報交換や事業企画、取り組み状況、地域づくりに関する研修
- ・事業を全てデータ化で開示、それについて合同で詳細説明や評価等、学習。

研修日程について

業務内容、勤務体制、予算の関係で2日間研修や、1日研修の参加が難しいと答えている。

- ・2～3日の研修というのは、非常に参加しにくい。
- ・日程が公民館の事業と重なることが多い。
- ・半日の研修だと比較的参加できるので回数を増やしたほうがいい。
- ・10時開始で16時までに終了する研修時間にして欲しい。

研修のあり方

参加しにくい理由の一つとして、「研修会場が遠い」という理由があげられている。そのため身近な会場で行って欲しいという要望が多い。また、資質向上のため半強制的な参加を求める意見もある。

- ・通信講座的なものをしてほしい。
- ・出前講座をしてほしい。(旧市町村単位)
- ・研修会の会場が松江市での場合が多い。平田、出雲地域でも実施してほしい。
- ・募集対象、資格等を明確にして欲しい。例えば新しく社会教育に携わる人を対象にするとか、経験年数何年未満とか、何年未満を希望するとか。
- ・1年に2～3回程度は公民館従事者の研修に、市単位でまとめ半強制的参加するようにし、職員の資質向上に努めて欲しい。

広報のあり方

- ・担当部局の考え方、職場における研修に対する意識の差によって、研修に参加しやすい職員と、しに

くい職員がいるのが公民館やコミセンの実態である。その事を踏まえて、まず、行政の担当者（教育委員会にせよ首長部局にせよ）に「研修の必要性」を研修する必要がある。次に現場のトップや職員自身に常に学びつづけなければ、出来ない仕事であることを認識してもらうことも大切である。いずれにせよ研修に参加しやすいのはきちんとルートを通ってくる案内であると思う。よって研修の案内は①担当部局を通してと、②各コミセン、公民館へ直接の二重にきたほうがありがたい。

- ・ほとんど知らない。PRが足りないと思う。
- ・市の公民館担当部署に広報、働きかけを強めて欲しい。（いろいろ研修は受けたいが、金、人がない）
- ・研修についての要項等が館に届くのが遅いため、締め切りに間に合わないことがあった。

現状について

- ・なかなか研修に参加できず残念に思っている。その理由として「公民館の業務だけでなく、窓口や行政との連絡調整事務などで多忙で、館を空けて出るわけにいかない。」「一日研修で留守にするという、上司の理解がなかなか得られない。」「遠方なため、気軽に出向くことができない。」などがある。
- ・現在公民館職員の人数が少なく、研修会に参加すると公民館業務に支障が出るため、各種研修会には参加できない場合がある。
- ・勤務形態の都合によりなかなか参加できなくて残念に思う。公民館職員として資質向上のための研修の受講を希望し、知識や技能を身に付けたいが、現実的には公民館業務におわれ研修を受けることが出来ない状態にある。現状の勤務体制を打開し、参加できるように解決できればと思う。早めの研修日程のお知らせがあると、調整でき、参加できるかもしれない。
- ・公民館の現状は、社会教育法に基づく役割に加えて地域社会とのかかわりが求められ、また、財政事情の厳しさもあって、積極的に研修に参加するためにはハードルが高いように感じている。

感想等

- ・生涯学習推進センターが主催する研修に何回か参加している。事業企画や運営について参考になることが多い。公民館のあり方は基本的には同じだと思うが、それぞれ、地域の特性があるので、学んだことがすぐに当てはまらないと思うこともあった。学んだことを踏まえて、地域に活用できるようにしていかなければと思っている。
- ・公民館の役割が一年一年増える中で、分野も数年前にはなかったものを求められたり、変化したりしている。日々は時間と仕事と人に追われ、ただただ時間が過ぎているが、事業を終えると、ふと、公民館ってなんだろうと、とても初歩的なことを考えることがある。行政ではなく、学校でもなく、地域の中で人と関わっていくことの難しさや、リーダーの育成はどの団体でも課題だと思う。子どもの安心安全や子育ての悩み、子どもに何が必要で地域に求められるもの、高齢者の福祉施設をかねる事業、警察との関わり、もちろん学校、行政、地域団体など、これでいいということはないと思っている。情報の交換や、課題について話し合ったりすることで、直接解決にはならなくてもヒントをもらったり、元気をもらったり、出会いがあったり、そういうものを求めて研修会に参加している。
- ・年一回は必ず行くようにしている。事業推進の上でヒントになることが多いので、楽しみにしている。参加人数が少なくてもめげないで続けてほしい。
- ・町村合併と同時に開館した公民館であり、まだ、手探りの状態で事業を行っている。いろいろなところの情報聞いたり、知ったりして、より充実した公民館活動を展開していきたい。
- ・公民館が取り組む分野や内容について、職員の認識、資質の向上に向けて研修等を企画してもらい、ありがたく思っている。しかし、公民館と教育委員会とのかかわりにおいて、特に公民館職員の研修については、市町村にもよると思うが教育委員会に放っておかれているといっても過言でないと感じている。積極的な教育委員会の取り組みを期待する。